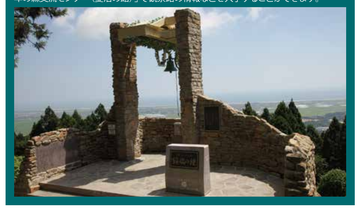
みちのく潮風トレイル 亘理町～山元町ルート

■阿武隈山系縦走コース　1日コース｜距離 約：15.0km

1 深山鎮魂の鐘

深山は、阿武隈山地の稜線上に位置する展望のよい里山で、山頂(標高287m)へとつづく深山自然観察路はいずれも登りやすく、地域の人々に親しまれています。山元町の田園風景や遠く太平洋を一望することができる山頂には、震災の犠牲者の霊を慰めようと町民の有志が全国から募金を募り制作した「深山鎮魂の鐘」があります。また、麓の「深山山麓少年の森交流センター（菱沼の館）」で観察路の情報などを入手することができます。



2 四方山

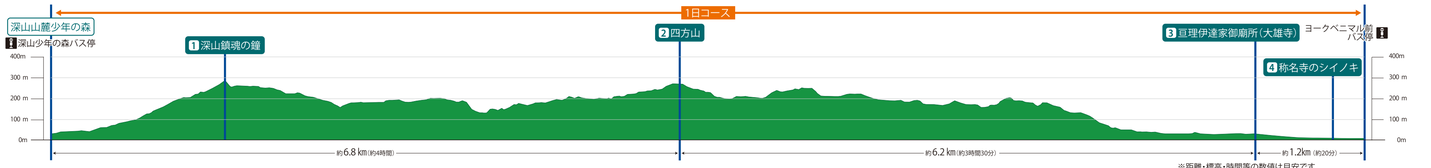
角田市・亘理町・山元町の境界に位置する標高272mの山です。戦時中には頂上に高射砲の砲台が設置されていました。展望台からは東に太平洋の大海原が、西には蔵王連峰の雄々しき姿を満喫することができ、「みやぎ蔵王三十六景」にも選ばれています。

3 亘理伊達家御廟所（大雄寺）

「大雄寺」の境内にあり、県指定文化財の伊達成実霊屋をはじめ明治維新に至るまでの亘理伊達家十三代の領主・夫人の霊が永い眠りについています。成実霊屋は1月16日と8月16日の年2回御開帳しています。

4 称名寺のシイノキ

県指定文化財の木造阿弥陀仏如来を本尊として開山した称名寺の境内には、樹高約14m・幹周り7.5～11m、推定樹齢700年の「シイノキ」があり、国指定天然記念物に指定されています。また、推定樹齢300年の「ツブラジイ」（県指定天然記念物）もそびえています。



■里道歴史散策コース　半日コース｜距離 約：10.0km

5 田沢磨崖仏

阿武隈川に突き出た岩肌に彫刻された磨崖仏群は、岩地蔵とも呼ばれています。この場所は昔の要路であった東街道の渡し場「稲屋の渡し」といわれた所で、磨崖仏はこの渡しの安全を願うことと深い関係があったものと思われます。左甚五郎が船を待つ間に彫り上げたとも言われています。

6 三十三間堂官衙遺跡

平安時代の陸奥国亘理郡衙(郡役所)の跡です。保存状態がよく、当時の地方行政官や政治機構を知るにも貴重な遺跡で、平成4年には国指定の史跡になりました。

7 鹿島天足和気神社

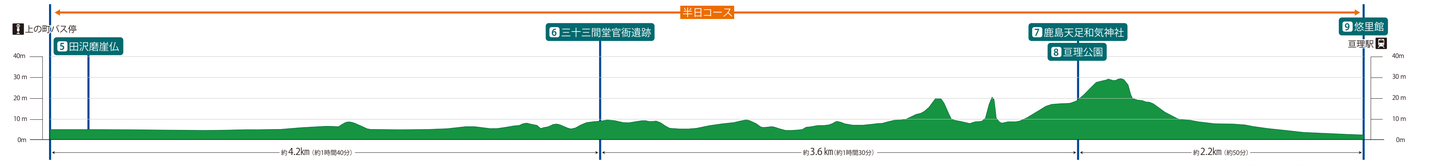
平安時代に編纂された「延喜式神名帳」に記載されている神社で、創建時は三門山山頂にありましたが、天慶四年（941年）に北鹿島に遷され、貞享三年（1686年）、亘理伊達家五代伊達実氏によって現在地に遷されました。寛政二年（1790年）に建立された拝殿が、現在の神興庫です。

8 亘理公園

桜、あやめ、パンジー、マリーゴールドなど、季節の花々が咲き誇り、四季を通じて美しい風景を楽しめます。散歩路が整備されており植物を観測しながらウォーキングが楽しめます。また、野球場やテニスコート、アスレチック遊具なども備えており大人から子供まで楽しめます（野球場、テニスコートは有料です）。

9 悠里館

お城の形をした郷土資料館と図書館の複合施設で、町のシンボルとなっています。「亘理の民話」を聞くコーナーもあり、歴史好きの方以外の方でも楽しめる内容となっています。最上階の5階には、町が一望できる展望ホールが備えられています。



その他のスポット

【農産物直売所「夢いちごの郷」】

産直野菜や農産加工品（ジャム等）、特産品を販売しています。9月上旬から3月下旬は山元町産のりんご、11月下旬から6月中旬は山元町産のいちごを販売しています（営業時間:年末年始を除く午前9時から午後4時まで）。

【八重垣神社】

応永18年（西暦1411年）藤波亮雄が伊勢神宮に詣で、素盞嗚尊の神霊を乞い、牛頭天王と称し鎮守としたとされています。また、明和元年（西暦1764年）に奉納されたと伝えられる釣鐘には大同2年（西暦807年）と刻まれており、平安時代からの歴史を感じることができました。東日本大震災の津波ですべて流されてしまいましたが、6年半を経てようやく新たな社殿が完成しました。

【きずなポートわたり】

にぎわいと交流を担う複合施設です。地元の小中学生から募集して決まった「きずなポートわたり」の名前には「震災で絆の大切さをより感じるようになり、荒涼にたくさん人が来てほしい。」という想いが込められています。1階の鳥の海ふれあい市場には、鮮魚、地元野菜、工芸品が並んでいます。

【わたり温泉鳥の海（亘理町営）】

津波により甚大な被害を受け休業していましたが、2014年10月4日には日帰り入浴を再開しました。浴槽が最上階の5階に設置されており、東は太平洋、西は蔵王連峰の景色を一望できます。4階のレストランでは期間限定で亘理町名物「ほうこめし」を食べることができます。

【旧中浜小学校】

震災時、校舎の2階まで津波が到達しましたが、校長先生の判断により屋上へ避難し、児童・教職員などの90名が助かりました。校舎のそばには全国から届いた応援メッセージや、地元の中学生が書いた黄色いハンカチが掲げられています。寄せられたたくさんの支援への感謝と、元気な山元町を全国に発信したいという願いが込められています。

【磯崎山公園】

藩政時代、仙台藩には外国船を監視するため5カ所の御番所がありました。そのうちの1つが磯崎山です。北は牡鹿半島、南は福島県の鵜ノ尾崎まで見渡すことができます。また、伊達政宗が生まれて初めて海を見たのが、ここ磯浜と言われています。

【坂元神社】

養首城跡に建てられた神社です。坂元神社の社殿の周りをはじめ境内には多数の桜の木が植えられています。
桜は例年4月中旬から下旬が見頃で、桜の名所として地元の人たちに親しまれています。

トレイルを歩くためのルール

自然を大切に
動植物を持ち帰ったりせず、そっと見守るだけにして、思い出として心の中にしまいましょう。
また、トレイル周辺には、ツキノワグマが生息しています。
事故を避けるためにも、クマ鈴の携行をお勧めしています。

ゴミは全て持ち帰る
ゴミを食べた動物が死んでしまったり、餌付けて人間に危害を加えたりすることに繋がります。感動と一緒に家まで持ち帰りましょう。

トレイルでも気遣いを
誰もが気持ちよくトレイルを楽しめるように、ハイカーや地元の人に配慮した行動を心掛けましょう。

禁煙・火の取り扱い注意
山火事の恐れとがあるので、トレイル上は原則禁煙です。
また、たき火は指定の場所で行いましょう。

挨拶をしましょう
ハイカーや地元の人に会ったら、挨拶を交わしましょう。

ルート上を歩きましょう
歩道以外の森や畑、人の家の敷地などには入らないようにしましょう。

トレイルの歩き方

自分にあったルートを選びましょう
自分の体力や経験、歩く距離、高低差などを考慮して、トレイルのどの区間を歩くかを決めましょう。難度の高い場所を通過するコースの場合は、慎重に行程を組みましょう。

無理は禁物！
安全管理は自己責任が基本です。
決して無理をしないようにしましょう。必要な場合は、ガイドさんに同伴を依頼したり、ツアーなどに参加したりして、安全なトレイル歩きを楽しみましょう。

ルートを歩くイメージを思い浮かべましょう
スタート地点へのアクセス方法を決め、ルートの距離と所要時間を頭に入れておきましょう。食事の場所や休憩時間を想定しておけば、苦しい道のりも乗り切れます。
地図上で広域避難場所の位置も確認し、万一の災害に備えましょう。
ルート上の危険な箇所を知り、対策を考えておきましょう。海岸を通過するコースでは、潮位や波の高さを調べておくと良いでしょう。

装備品ガイド

計画に合わせて持ち物を準備しましょう。
現地で必要なものがなくて困ったり、荷物が多すぎて疲れたりすることのないように、しっかりと準備しましょう。

必需品
- トレッキングシューズ
- リュックサック
- 体温調節のできる服装
- 帽子
- 雨具
- マップ
- コンパス
- 水筒（ペットボトル可）
- ライト
- タオル
- ティッシュペーパー
- 携帯型救急セット
- 行動食
- 健康保険証（コピー可）
- 手袋
- 携帯ラジオ
- クマ鈴

あれば便利な物
- ストック
- スパッツ
- 着替え
- デジタルカメラ
- 携帯電話
- GPS
- 折り畳み傘
- 反射板
- 虫よけ

みちのく潮風トレイル
Michinoku Coastal Trail
［亘理町～山元町］

http://tohoku.env.go.jp/mct/

お問い合わせ先

◆観光窓口
亘理町観光協会 …… 0223-34-0513
山元町産業振興課 …… 0223-37-1119

◆鉄　道
仙台空港鉄道株式会社 …… 022-383-0150
JR東日本お問い合わせセンター … 050-2016-1600

◆バ　ス
亘理町民集合自動車「さざんか号」亘理町企画財政課 … 0223-34-0505
山元町町民バス「くるりん号」山元町企画財政課 … 0223-37-1118

◆タクシー
マルワタクシー …… 0223-34-1300
山下タクシー …… 0223-34-1523
山元タクシー …… 0223-37-0042
はぎのタクシー …… 0223-37-0505
ワカバタクシー …… 0223-37-1100
つばめタクシー …… 0223-23-1611

◆警察署
亘理警察署（亘理町・山元町全域） … 0223-34-2111

◆消防署
亘理地区行政事務組合消防本部（亘理町・山元町全域） … 0223-34-1155

◆医療機関
三浦クリニック …… 0223-34-1300
宮城病院 …… 0223-37-1131

環境省
Ministry of the Environment
〒100-8975　東京都千代田区霞が関1-2-2　TEL:-03-3581-3351（代表）
発行 平成30年4月

みちのく潮風トレイルとは

みちのく潮風トレイルとは
青森県八戸市から福島県相馬市までの
海岸線を中心に設定されるトレイルコースです

トレイルとは森林や里山、海岸、集落などを通る
「歩くための道」のこと

歩くスピードで旅することで
日々姿を変えていく植物の芽吹き
色とりどりな花々の開花
大自然に棲む野生動物の姿
さまざまな自然と出会うことができます

やませや津波などの自然の脅威
その地域に根ざした特有の文化
地元住民の温かなもてなし
「人と自然」「人と人とのつながり」を
感じることができます

未知との出会いを求めて
歩き出しましょう